

島根県文化財保護審議会次第

日時:令和5年8月10日(木)

13:30~15:30

場所:サンラポーむらくも
瑞雲の間

開 会

議 事

【報告事項】(公開)

- 1 令和5年度文化財事業について
- 2 文化財の所在調査について

【報告事項】(非公開)

- 3 県指定に向けた文化財の調査状況について

閉 会

公開用

島根県文化財保護審議会

資 料

日時:令和5年8月10日(木)
13:30~15:30

場所:サンラポーむらくも 瑞雲の間
(松江市殿町369番地)

島根県教育委員会

1 令和5年度文化財事業について

※（ ）の事業費は令和5年度当初予算

(1) 歴史遺産保存整備事業

① 国指定文化財修理費等助成 (132,579千円)

県内の国指定文化財の保存・活用のため、保存修理、防災施設整備、災害復旧、活用・伝承等の事業に対する助成

※ 事業一覧は次頁参照

【主な事業】



重要文化財 日御碕神社鳥居保存修理事業
鳥居の解体保管状況
課題：鳥居の傾斜、沈下など破損の危険性
対応：保存修理、耐震補強のため解体修理



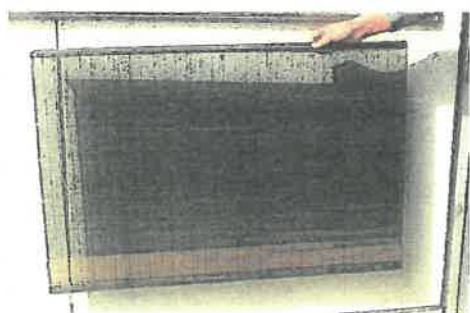
重要文化財 八幡宮本殿ほか2棟保存修理事業
潔斎橋の解体状況
課題：建物の傾斜、沈下、雨漏りなど
対応：保存修理、耐震補強のため解体修理

② 県指定文化財保存修理費等助成 (28,865千円)

県指定文化財の保存・活用のため、保存修理、防災施設整備、伝承等の事業に対する助成

※ 事業一覧は次頁参照

【主な事業】



雁皮紙無形文化財伝承事業
紙漉き用具の現状
課題：用具の経年劣化
対応：用具の修理・新調



金谷の城山桜天然記念物再生事業
金谷の城山桜の現状
課題：根の一部露出
対応：根の保護、土壌改良

③ 国指定文化財管理費助成 (5,708千円)

国指定文化財の維持・管理のため、所有者等が行う必要な措置に要する経費に対する補助
【指定文化財管理費助成】(神魂神社、櫻井氏庭園、萬福寺本堂、水若酢神社本殿など全22件)

④ 埋蔵文化財調査費助成 (101千円)

個人住宅に伴う埋蔵文化財調査等の個人に費用負担が生じる調査に対する助成

令和5年度 歴史遺産保存整備事業

(令和5年7月末現在)

① 国指定文化財修理費等助成

補助事業者名	種別	名称	事業費(千円)
個人	建造物修理	重文 木幡家住宅主屋ほか10棟	87,000
出雲市	建造物修理	重文 旧大社駅本屋	142,000
宗教法人 日御碕神社	建造物修理	重文 日御碕神社	31,670
宗教法人 八幡宮	建造物修理	重文 八幡宮	70,000
松江市	史跡整備	史 松江城	2,520
宗教法人 月照寺	史跡整備	史 松江藩主松平家墓所	40,980
益田市	史跡整備	史 益田氏城館跡	6,000
津和野町	史跡整備	史 津和野城跡	15,000
津和野町	史跡整備	史 西周旧居	10,800
石州半紙技術者会	無形文化財伝承	重無 石州半紙	5,740
佐陀神能保存会	民俗文化財伝承	重無民 佐陀神能	2,662
雲南市	民俗文化財施設整備	重有民 菅谷たたら山内	2,800
奥出雲町	文化的景観保護	重文景 奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観	8,048
雲南市	天然記念物再生	特天 コウノトリ	2,000
津和野町	伝統的建造物群基盤強化	重伝建 津和野町津和野伝統的建造物群保存地区	20,294
宗教法人 華蔵寺	美術工芸品修理	重文 木造薬師如来坐像	16,367
松江市	史跡買上げ	史 松江城	18,891
松江市	史跡買上げ	史 田和山・神後田遺跡	14,601
益田市	史跡買上げ	史 中須東原遺跡	104,719
松江市	防災施設整備	国宝 松江城天守	215,560
宗教法人 佛谷寺	防災施設整備	重文 木造薬師如来坐像ほか4躯	8,614
津和野町	防災施設整備	史 亀井家墓所(災害復旧)	96,080
計			922,346

② 県指定文化財修理費等助成

補助事業者名	種別	名称	事業費(千円)
宗教法人 真名井神社	建造物修理	真名井神社本殿	1,634
宗教法人 真名井神社	防災施設整備	真名井神社本殿	3,499
個人	建造物修理	櫻井家住宅	1,243
個人	無形文化財伝承	雁皮紙用具修理	337
益田市	天然記念物再生	金谷の城山桜	770
計			7,483

(2) 未来へ引き継ぐ石見銀山保全事業

<事業の概要・目的>

世界遺産石見銀山遺跡を適切に管理し、将来へ継承していくため、「調査研究」、「保存整備」及び「情報発信」を柱として事業を実施

① 世界遺産総合調査研究事業 (22,218 千円)

石見銀山遺跡の実態解明を目指して調査研究を推進し、世界遺産としての価値を高める。

ア 基礎調査研究事業

- ・ 考古学、歴史・民俗学、自然科学の3分野で、基礎的な調査研究を継続
[考古学] 発掘調査、石造物調査、考古資料分析
[歴史、民俗学] 文献調査、人権同和問題調査
[自然科学] 地質学・間歩調査、生物環境調査、資産保全調査

イ テーマ別調査研究事業

- ・ 基礎調査研究で得られた成果をもとにテーマを設定して調査研究を実施
[歴史] 石見銀山発見500年の歴史 (R5～9年度)
[鉱山比較] 国内鉱山道具比較 (R2～5年度)、海外鉱山運営比較 (R3～5年度)

② 世界遺産保存整備事業 (47,644 千円)

石見銀山遺跡を適切に保存管理・整備し、世界遺産として後世に引き継ぐ。

ア 遺跡整備事業

- ・ 史跡等の保存修理 (佐毘売山神社、西本寺、三宅家、城上神社)
- ・ 重要伝統的建造物群保存地区建造物の修理修景
- ・ 防災施設整備 (一般、災害復旧)
- ・ 史跡等公有地化 (昆布山谷地区)
- ・ 落石対策事業



(清水谷精練所前石垣保存修理)



(島田家母屋修理)

イ 拠点施設の管理運営の支援

- ・ 石見銀山世界遺産センターの管理運営経費を支援

③ 世界遺産総合情報発信事業 (10,180 千円)

調査研究等により明らかにされた世界遺産の価値を広く情報発信する。

ア 企画展の開催

- ・ 石見銀山世界遺産センターで企画展「天下人と奉行・代官たち (仮)」を開催

イ 講座の開催

- ・ 石見銀山遺跡の価値や魅力を発信するために、県内外で講座を開催
[県外] 収録した講座をオンライン配信
[県内] 丁銀づくり体験などを組み合わせたミニ講座を開催
児童生徒を対象に座学と体験学習を組み合わせた出前講座を開催



(オンライン講座)



(出前講座)

ウ パネル展の開催

- ・ 県立施設等において、調査研究成果等をわかりやすく伝えるパネル展を開催

エ パンフレット等の作成

- ・ 調査研究成果をわかりやすく伝えるパンフレット等の作成、ホームページへの掲載

(3) 島根の歴史文化活用推進事業（古代文化センター）事業

① 島根の歴史文化研究

ア 基礎研究（19,907千円）

- ・ 考古基礎資料（青銅器、出土品、墓制、生産遺跡）、風土記、祭礼行事、中世・近世史料

イ テーマ研究（23,054千円）

- ・ 基礎研究を踏まえて、特定のテーマを3年程度調査研究し、その成果を古代出雲歴史博物館で開催される企画展で紹介し、併せて研究報告書を刊行。【別紙】参照
- ・ 今年度より「律令制下における地方行政の研究」、「幕末維新时期の島根における地域社会の変容」を開始。

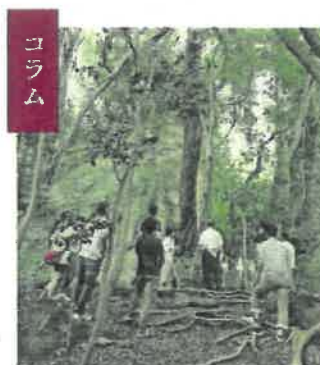
② 島根の歴史文化を活用した情報発信（32,074千円）

ア 古代文化センターホームページによるオンライン情報発信

研究員の日記（ブログ）、しまこだチャンネル（動画）、いまどき島根の歴史（コラム）



古代セン通信



コラム

いまどき島根の歴史

思わず「へえ〜、知らなかった!」と声が出る、研究員イチ押しの話題をつづった連載コラムです。

[詳しく見る](#)



ブログ

研究員の日記

日々の研究活動で見たこと、考えたこと。古代文化センターの日常を生の声で紹介します。

[詳しく見る](#)



動画

しまこだチャンネル

研究員が県内あちこちを駆け巡り、調査研究の最新情報や、いち押しネタを動画にしてご紹介します。

[詳しく見る](#)

イ 講座、シンポジウム

- ・ 古代出雲文化シンポジウム 於：有楽町朝日ホール（定員 700 名）
シンポジウムを番組として録画収録し、インターネット配信

開催日	テーマ	講師
11/4(土)	『出雲国風土記』を読み解く －語り継がれる古代出雲－	佐藤信（東京大学名誉教授）、伊藤剣（明治大学准教授）、兼岡理恵（千葉大学教授）

- ・ 「島根の歴史文化講座＋オンライン」（4回開催） 於：松江テルサ
テーマ「どこかで誰かに話したくなるしまねの歴史」

開催日	タイトル	講師
9/2(土)	ここまでわかった『出雲国風土記』	古代文化センター職員
9/23(土)	なべとかま～たたら鉄が支えた台所～	鳥谷智文（松江工業高等専門学校教授）
11/26(日)	古墳時代のはじまりと山陰	岩本崇（島根大学准教授）
12/10(日)	島根にはじまる明治維新	古代文化センター・古代出雲歴史博物館職員

- ・ 石見国巡回講座 於：江津市総合市民センター

開催日	タイトル	講師
10/28(土)	海の武士・都野氏と江津・都野津	西田友広（東京大学史料編纂所准教授）

- ・ 隠岐国巡回講座 於：隠岐島文化会館

開催日	タイトル	講師
9/17(日)	後鳥羽上皇と隠岐	古代文化センター職員

ウ しまねの古代文化連続講座・しまねの古代文化探訪ツアー

- ・ 古代歴史文化賞の成果を活かした講座を東京で開催（3回開催：定員各 200 名）
R5年度のテーマは「万葉集・人麻呂・石見」

開催日	タイトル	講師
8/11(金)	石見の人麻呂と大和の人麻呂	川島美美子（「山陰万葉を歩く会」代表）
8/19(土)	防人の歌	大谷雅夫（京都大学名誉教授）
10/1(日)	柿本人麻呂と世界文学	小松靖彦（青山学院大学教授）

- ・ しまねの古代文化探訪ツアー 10月22日(日)～10月24日(火)
連続講座受講者を中心に羽田空港発着のツアー参加者を募集し、石見の歴史文化遺産をめぐる。R5年度は、万葉集登場地（高津柿本神社など）、石見銀山、津和野

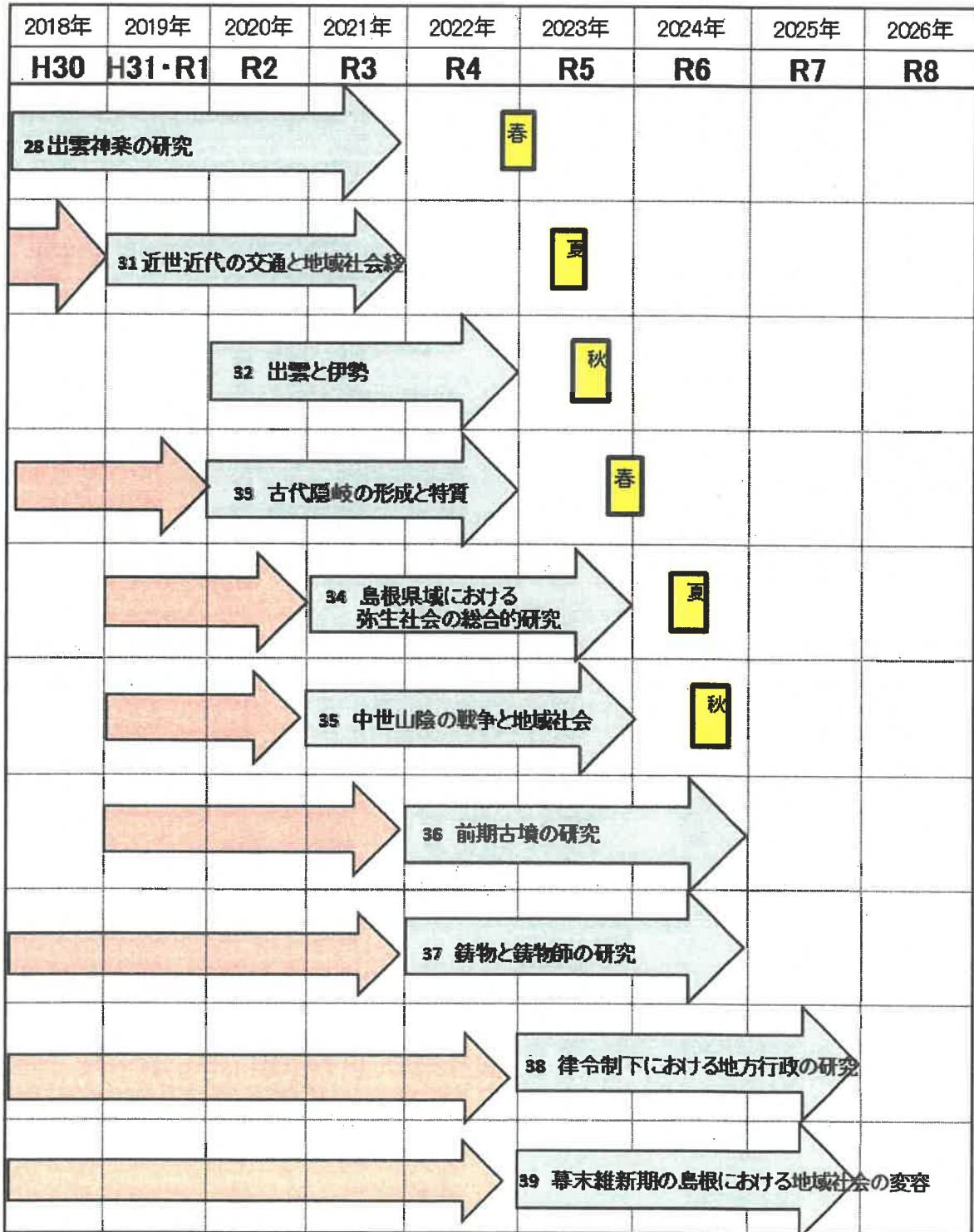
③ 他県と連携した取り組み（1,900千円）

古代歴史文化協議会

- ・ 8県（島根・埼玉・奈良・和歌山・鳥取・岡山・佐賀・宮崎）による連携事業
- ・ 今年度から第3期事業に着手
- ・ 第3期共同研究テーマ「古墳時代の中央と地域」
研究集会開催：9月12日(火)～13日(水) 於：岡山県庁ほか

【別紙】

テーマ研究年次計画





島根県古代文化センター

しまねの歴史文化

どこかで誰かに話したくなる 島根の歴史



綿引塗家造り
（松江市）
台
馬谷屋敷
（松江市）
鑄物製造所
（松江市）
島谷支
（松江市）

第1講

ここまでわかった
『出雲国風土記』—注釈書出版記念—

ここまでわかった『出雲国風土記』

9月2日(土)
午後1時～3時

はしもと ごう
橋本 剛氏

(島根県古代文化センター 主任研究員)



第2講

なべとかま
～たたら鉄がささえた台所～

松江藩釜飯方の特徴

9月23日(土・祝)
午後1時～3時

とや ともふみ
鳥谷 智文氏

(松江工業高等専門学校 教授)



第3講

古墳時代の
はじまりと山陰

鏡からみた古墳時代のはじまりと山陰

11月26日(日)
午後1時～3時

いわもと たかし
岩本 崇氏

(島根大学法文学部 准教授)



第4講

島根にはじまる明治維新 | 12月10日(日) 午後1時～3時

長州藩の
石見銀山奪還

やの けんたろう
矢野 健太郎氏

(島根県古代文化センター 専門研究員)



長州藩の論理は
正義か?

おか こうぞう
岡 宏三氏

(島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)



●上段/風土記復元品、神原神社古墳景初三年銘三角縁神獸鏡 ●下段/『山陰道商工便覧』、大森代官所

受講のご案内

会場:松江テルサ 1階テルサホール (JR松江駅から徒歩1分)

事前申し込み制 聴講無料

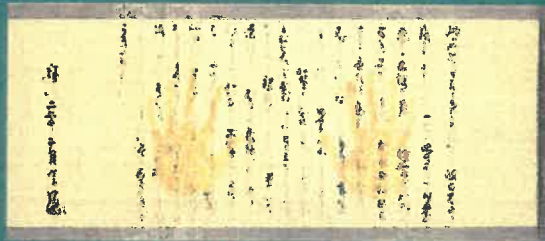
申し込み方法は裏面をご覧ください



島根県古代文化センター
Center for Ancient Culture, Shimane Pref.

GOTOBA EMPEROR EMERITUS

2023 9月17日 10:00~11:30
(開場 9:30)



後鳥羽天皇宸翰御手御筆文(複製写真)
※原典所在：水戸市神宮寺蔵、複製提供：鳥根県立古代史蹟歴史博物館



紙本彩色後鳥羽天皇像(複製写真)

事前
申込不要
聴講無料

後鳥羽と隠岐上皇

第25回隠岐国巡回講座

鳥根県古代文化センターは、隠岐の歴史と文化の理解を図る場として、最新の研究成果も交えながら「隠岐国巡回講座」を島内各所で開催しています

第25回となる令和5年度は、隠岐島に配流されてから800年が過ぎた後鳥羽上皇にスポットをあて、配流の地として隠岐島が選ばれた事情や、隠岐島への配流経路、配流後の都の人々とのつながりなどから、承久の乱後の上皇をたどり、また、上皇の没後も、寄せられ続けてきた多くの評価をもとに、上皇の人物像に迫ります

講師 / 田村 亨
(鳥根県古代文化センター主任研究員)



会場 / 隠岐島文化会館 2階集会室
隠岐の島町西町吉田の二番地 TEL.08512-2-0237

定員 / 150名

動画
配信

講演の内容は後日、鳥根県古代文化センターが運営するYoutube「しまこだチャンネル」で配信いたします。

視聴方法：古代文化センターHPへアクセスし、「しまこだチャンネル」を選択

- 主催 鳥根県教育委員会 ■共催 隠岐の島町教育委員会
- 後援 一般社団法人隠岐ジオパーク推進機構

お問い合わせ

鳥根県古代文化センター 〒690-8502 松江市殿町1番地
TEL. 0852-22-6726 FAX. 0852-22-6728 (月18:30~17:15)
https://shimane-kodai bunka.jp E-mail kodai@pref.shimane.lg.jp



古代文化センター
HP QRコード

(4) 埋蔵文化財調査センター事業

① 埋蔵文化財発掘調査事業 (317,275 千円)

- ・ 開発に伴う発掘調査事業
別紙「令和5年度の発掘調査」のとおり
- ・ 学術調査事業
古代文化の郷「出雲」調査事業
国史跡出雲国府跡（松江市大草町）の調査
古代文化センター考古基礎資料調査研究事業
堀部1号墳（松江市鹿島町）の測量調査
西川津遺跡（松江市西川津町）出土品の再整理



松江市・団原Ⅲ遺跡の発掘調査

② 管理運営事業 (21,138 千円)

- ・ 発掘調査成果品の貸し出し、外部からの資料調査希望の対応
- ・ 木製品、金属製品等の緊急及び計画的保存処理
- ・ 各種研修…埋文担当職員養成研修、専門職員向け研修など

③ 普及活用事業 (2,428 千円)

- ・ 発掘調査成果の情報発信…遺跡説明会、各種講座、広報誌、HP、SNSなど
- ・ 小中学校、特別支援学校を対象とした
文化財出前授業…年間28校予定
- ・ 発掘調査成果品（出土品、写真等の記録）の
管理…アナログデータのデジタル化等



出前授業「心に残る文化財子供塾」での古墳見学

令和5年度 県埋蔵文化財調査センター発掘調査一覧



令和5年度 発掘調査箇所位置図

【国事業】

調査事業	所在地	調査遺跡	調査期間(予定)
大橋川改修事業(朝酌地区)	松江市朝酌町	朝酌矢田Ⅱ遺跡	5～7月
大橋川改修事業(白潟地区)	松江市魚町ほか	松江城下町遺跡白潟地区3・4区	5～12月
江の川改修事業	江津市松川町	桜谷鈿跡	6～12月

【県事業】

調査事業	所在地	調査遺跡	調査期間(予定)
国道432号大庭バイパス	松江市大庭町	団原Ⅲ遺跡	5～7月

【学術調査】

調査事業	所在地	調査遺跡	調査期間(予定)
風土記の丘地内(国補助事業)	松江市大草町	史跡出雲国府跡	9～12月

【試掘調査】

調査事業	所在地	調査箇所	調査期間(予定)
益田西道路、益田田万川道路、浜田道4車線化、江の川改修外	益田市、浜田市、江津市外		5～1月

(5) 古代文化の郷“出雲”調査事業 (18,952 千円)

① 史跡出雲国府跡の経緯

- 昭和 43～45 年度 (1968～70) 松江市が発掘調査・・・第 1 期発掘調査
昭和 46 年度 国史跡に指定
昭和 49 年度 史跡公園整備 (風土記の丘オープン)
平成 9 年度 古代文化の郷“出雲”整備構想策定
平成 11～23 年度 島根県教育委員会が発掘調査・・・第 2 期発掘調査
平成 14 年度 国司館城などの土地買上
平成 25 年度 総括報告書を刊行、政庁域の一部を史跡追加指定
平成 26 年度 史跡追加指定、政庁域の土地買上
平成 27 年度 史跡追加指定、発掘調査再開・・・第 3 期発掘調査
平成 28 年度 政庁域発掘調査、政庁域の土地買上
平成 29 年度～令和 2 年度 政庁域発掘調査
令和 3 年度 報告書作成
令和 4 年度 政庁域発掘調査、報告書 11 刊行
令和 5 年度 政庁域発掘調査

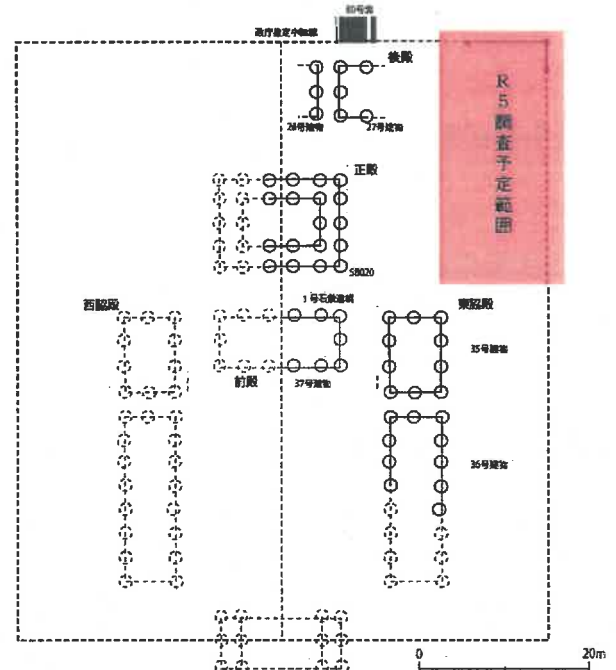
② 令和 5 年度以降の発掘調査について

ア 目的

- ・ 政庁域の施設配置とその変遷を把握すること。
- ・ 出雲国府跡の整備・活用 (史跡整備リニューアル等) のための基礎資料を得ること (古代文化の郷“出雲”整備事業)。

イ 令和 5 年度の発掘調査の目的

- ・ 政庁域における遮蔽施設の存否確認
- ・ 総括報告書に向けた課題の解決 (政庁域東側の状況確認等)



令和 5 年度発掘調査箇所

(6) 古代出雲歴史博物館事業 (400,545千円)

① 令和4年度観覧者・入館者実績

【展覧会】

No.	展覧会名	会期	観覧者数	満足度*
1	企画展 出雲と都を結ぶ道 —古代山陰道—	令和4年3月18日～ 5月15日 (58日間)	12,176人	79%
2	開館15周年記念特別展 ハニワの世界へようこそ	令和4年7月1日～ 8月28日 (57日間)	11,464人	89%
3	企画展 出雲と吉備	令和4年10月7日～ 12月4日 (57日間)	15,090人	77%
4	島根県埋蔵文化財調査センター開設30周年記念 私たちが掘りました —しまねの発掘調査30年—	令和4年12月27日～ 令和5年2月12日 (47日間)	6,682人	90%
5	企画展 出雲神楽	令和5年3月24日～ 5月21日 (57日間)	13,499人	92%

*展示内容が「良かった」の割合(アンケート調査による)

【入館者数】

開館以来の総入館者数 4,240,740人(令和5年7月5日現在)

令和4年度入館者数 148,339人

令和5年度目標入館者数 240,000人

月	令和5年度 入館者数(人)	令和4年度 入館者数(人)	令和3年度 入館者数(人)	令和元年度 入館者数(人)
4月	(18,000) 16,143	10,010	7,238	18,822
5月	(26,000) 19,655	15,121	7,679	26,490
6月	(14,000) 12,624	10,015	6,371	14,553
7月	(17,000)	9,449	10,939	16,339
8月	(31,000)	15,911	8,941	25,403
9月	(22,000)	10,334	6,873	18,552
10月	(25,000)	15,529	12,142	21,152
11月	(27,000)	17,606	17,229	17,998
12月	(12,000)	9,712	9,143	0
1月	(23,000)	11,196	8,186	11,489
2月	(9,000)	8,927	1,296	0
3月	(16,000)	14,529	7,940	0
(計)	(240,000) 48,422	148,339	103,977	170,798

※()内の数字は目標値

メンテナンス工事、および新型コロナウイルス感染拡大のため、令和元年11月18日から令和2年5月31日まで休館。令和2年1月1日～5日まで「新年まつり」開催により施設の一部を開放

※令和4年1月27日～2月20日 まん延防止等重点措置の適用により休館、3月24日～3月27日新型コロナウイルス感染症患者発生のため休館

② 令和5年度開催の展覧会

・企画展 出雲神楽(終了)

【会期】令和5年3月24日～5月21日(57日間)

【内容】島根県は「神楽」が盛んな日本有数の県として知られ、地域ごとに特色のある神楽が伝承されている。出雲神楽は、一般には八岐大蛇退治に代表される神話劇のイメージが強いが、様々な願いや目的のもとに行われる祭祀芸能としての命脈も今なお保っている。

本展では、出雲の人々と神楽との関係、地域に根差した芸能として今に生きる出雲神楽の姿に迫る。

・ **古代歴史文化賞特別賞受賞記念**

古代を描く—考古イラストレーター早川和子の世界—（終了）

【会期】 令和5年6月2日～6月18日（17日間）

【観覧者数】 2,940人 【満足度】 95%

【内容】 早川和子氏は、全国各地の遺跡の発掘調査成果を忠実に描くとともに、わかりにくいといわれる古代の風景を、楽しそうな人物を登場させることにより親しみやすいものにしてこられた。この魅力あふれる早川作品を紹介する。

・ **企画展 しまね×交通クロニクル —北前船からフォードまで—**

【会期】 令和5年7月7日～9月3日（57日間）

【内容】 交通は、いつの時代も社会に欠かせないものであり、私たちの暮らしに大きな影響を与える。交通の変化は、ときに私たちの生活や文化、産業を一変させることさえある。なかでも近世・近代という時代は、科学技術の発達により新たな交通手段が生まれた激動の時代といっても過言ではない。

本展では、日本海が物流の大動脈であった時代の海運にはじまり、鉄道・自動車の登場に至るまでの約250年にわたる島根の交通の歴史と暮らしの変化を、画期となる時代を取り上げながら紐解いていく。

・ **企画展 伊勢と出雲**

【会期】 令和5年10月13日～12月10日（55日間）

【内容】 対比的にとらえられることの多い“神風の伊勢”と“八雲立つ出雲”。

『日本書紀』には、天照大神が伊勢国に鎮まった経緯や、国譲りの代償として大己貴神のために「天日隅宮」が建てられたことが語られ、これが伊勢神宮と出雲大社の創建神話とされている。この2つの神社は、日本の国家誕生に関わる神社といえるだろう。

神話・古代史上の「聖地」ともいわれる両者の地域像は、どのようにできあがり、現代に引き継がれたのか。「伊勢」「出雲」それぞれの地域像が全国に定着していく過程を紹介する。

・ **企画展 古代隠岐（仮）**

【会期】 令和6年3月22日～5月19日（56日間）

【内容】 中央集権国家づくりに邁進した国家形成期、初めて日本人が「外国」を意識し、海に「国境」ができ、国家の中に「中央」が生まれ、「外国」と接するところには「辺境」「離島」が生まれた。

「中央」である都には「律令国家」を支える巨大な組織が生まれ、各地から都へ送り出された食料品が中央の人々の「食」を支えた。隠岐が送り出したのは膨大な海産物だった。外国に近く前線の位置を占めていることと、都へ膨大な海産物を供給したことが、古代隠岐の特徴といっているだろう。

本展では、「隠岐国」が成立する過程を紐解きながら、当時の地域のありようと、先人たちの営みを紹介することとしたい。

企画展

出雲神楽



蛇頭
出雲市 蔵



奥飯石神職神楽(三番叟)
飯南町



大史面
山王寺本郷神社中(松江市大東町) 蔵
古代族歌謡館 寄託

唐川神楽(田村)
出雲市



大蛇面
許善志神社(松江市) 蔵

令和5年

3.24(金) ▶ 5.21(日)

古代出雲歴史博物館 出雲大社東隣

開館時間:午前9時~午後6時 会期中の休館日:4/18(火)・5/9(火)
※3/24(金)は当展覧会会場のみ10:00開場

観覧料/一 般:企画展700円(560円)
大学生:企画展400円(320円)
小中高生:企画展200円(160円)

常設展とのセット券1,010円(800円)
常設展とのセット券 600円(480円)
常設展とのセット券 300円(240円)

※WEB限定前売り券については、ホームページをご覧ください。
※()内は20名以上の団体観覧料です。
※障がい者手帳または障がい者手帳アプリをお持ちの方はご提示ください。
保持者及びその介助者1名は観覧無料になります。

主催/島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター
後援/朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日 松江支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社



島根県立古代出雲歴史博物館 〒699-0701 島根県出雲市大社町伴築東99-4
Shimane Museum of Ancient Izumo TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>

古代歴史文化賞特別賞受賞記念

考古イラストレーター 早川和子の世界

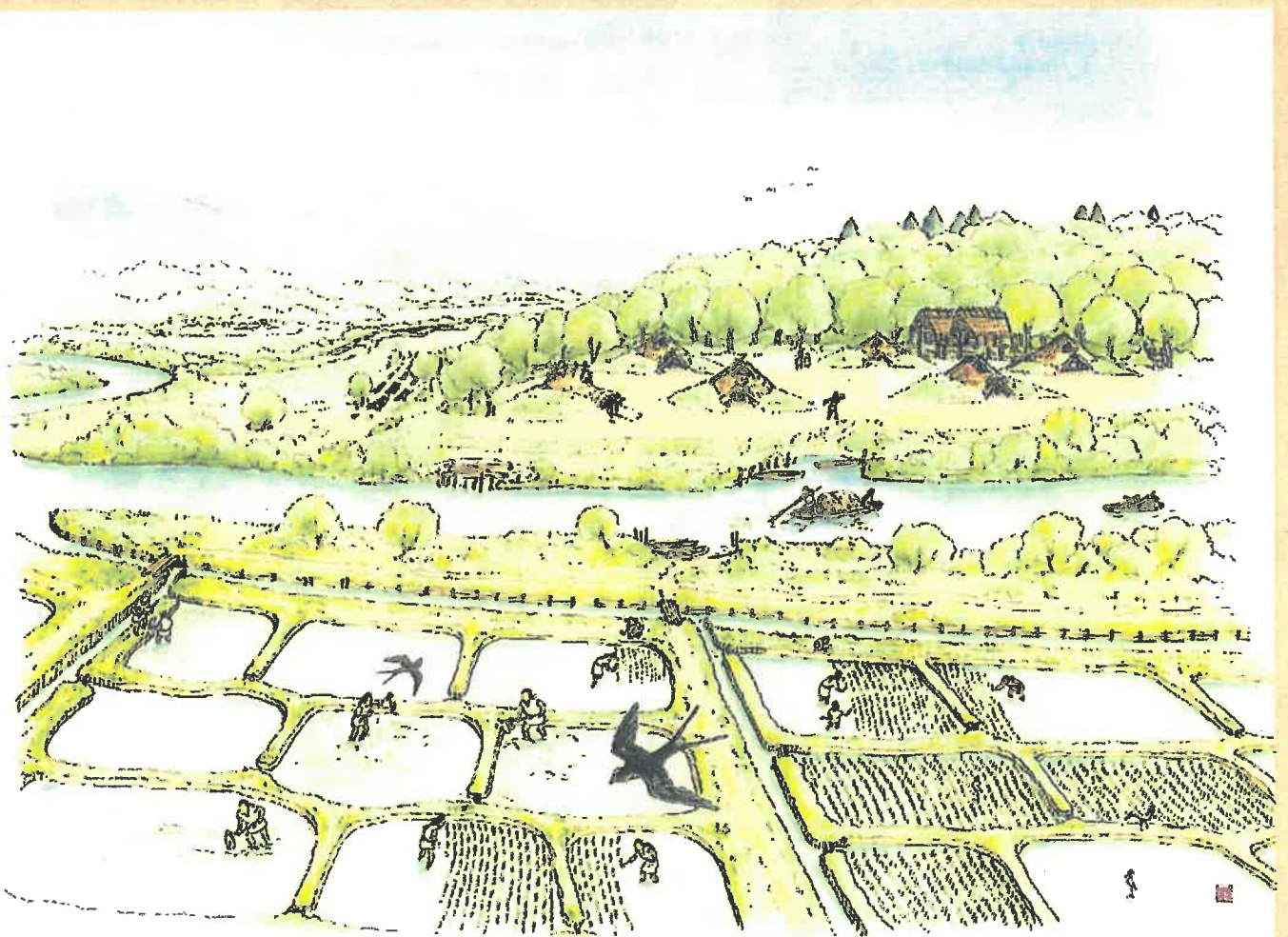
古代を描く



令和5年6月2日(金)-6月18日(日)

古代出雲歴史博物館

出雲大社東隣り



「弥生時代のむらの生活」

絵：早川和子

●常設展観覧料でご覧いただけます。**常設展観覧料** 一般¥620(¥490) / 大学生¥410(¥320) / 小中高生¥200(¥160)
*()内は20名以上の団体料金です。*障がい者手帳または障がい者手帳アプリをお持ちの方はご提示ください。保持者及びその介助者1名は観覧無料になります。

●開館時間・午前9時～午後6時※会期中の休館日はありません

●主催・島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター



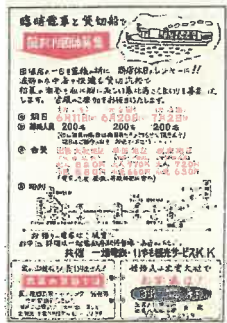
島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町竹藪99-4
TEL.0853-53-8600 <https://www.izm.ed.jp>



陸軍御客船票
浜田市指定文化財
18-20世紀
個人蔵

開闢の糧
1785年
美保神社蔵



開参り団体募集チラシ
1967年 松江歴史館蔵

交通が変えた
参詣と観光

大量輸送の
新たな主役
鉄道でつなげ
山陰と山陽



雲芸鉄道敷設附図
1924年 当館蔵



→ 芥川
龍之介

鳥根旅行の
学生二人組

← 松江出身
井川 恭
芥川龍之介と
井川(恒藤)恭
1912年
日本近代文学館提供



船絵馬
1864年 波根八幡宮蔵

企画展

しまね



交通

クロニクル

Transportation Chronicle of Shimane

北前船からフォードまで

2023年

7月7日(金)→9月3日(日)

古代出雲歴史博物館

出雲大社東隣り



A型フォード
1931年
福山自動車時計博物館蔵/写真提供

大衆車
フォード
鳥根を
駆ける

江戸時代
島根は
船で
全国津々浦々と
結ばれていた



蒸気船船形(外輪船)
(佐賀遺蹟制作)
佐賀県重要文化財 1855年頃
公益財団法人鍋島敬效会蔵/写真提供

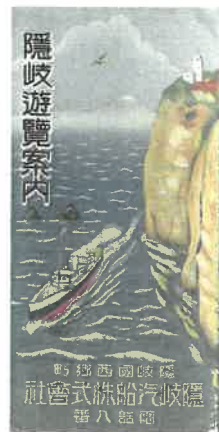
近代の幕開けは
蒸気とともに

飛脚業から運送会社へ…
小荷物運送の
近代化

原文運送ハッピー
越智小百合氏蔵
(松江歴史館寄託)



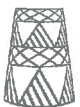
汽船で行こう
新しい観光地・隠岐へ



隠岐遊覧案内

時 鐘 西 國 岐 隠
社 會 式 株 船 汽 岐 隠
番 八 第 四

隠岐遊覧案内
1937年 当館蔵



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

[開館時間] 9:00-18:00 [会期中の休館日] 7月18日(火)、8月8日(火)

[主催] 島根県立古代出雲歴史博物館、島根県古代文化センター [後援] 朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、中国新聞社、山陰中央新報社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、テレビ朝日松江支局、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV株式会社



2 文化財の所在調査について

(1) 近代遺跡の調査について

① 経緯

島根県内の近代遺跡については、これまで、文化財保護法及び島根県文化財保護条例による指定等の保護は、あまり進んでいない状況である。

その一方で、土地利用の改変や再開発等に伴い、消滅の危機に瀕しているものも少なくないものと考えられている。

このため近代の歴史を理解する上で欠くことのできない重要な遺跡について適切な保護をはかることが求められており、その判断基準や取扱う範囲などの整理・検討が必要となってきた。

しかしながら、判断基準等を整理・検討する上で必要な全県的な近代遺跡の保存状況等の基礎的な情報は十分に把握されていないのが現状である。

国においては、平成8年から全国の近代遺跡の調査が開始され、調査成果については報告書が順次刊行されており、また、近代の埋蔵文化財の保護に係る都道府県担当者を交えた調査研究委員会が令和4年度から始まったところである。

以上の状況を鑑み、県内における近代遺跡の保存状況を確認し、その実態を把握するとともに、今後の保護・活用の基礎資料を得ることを目的に、調査を実施する。

② 調査内容

ア 所在調査

各市町村教育委員会に依頼して悉皆調査を実施し、所在調査票の作成を行う。

イ 詳細調査

所在調査の結果を受け、必要に応じ、対象物件を市町村教育委員会の協力を得て実地調査し、その物件の持つ歴史的背景を調べ、写真撮影等の記録作成を行う。

③ 調査期間

令和4年度～7年度（4年間）予定

④ 調査体制

ア 島根県（事務局：県文化財課 管理指導スタッフ）

- ・ 所在調査のとりまとめ、詳細調査の実施、遺跡の評価等
- ・ 市町村からの意見聴取を経て「埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準」の改訂

イ 市町村

- ・ 所在調査の実施、詳細調査への協力等
- ・ 市町村担当者検討会への出席（「埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準」の検討）

※ 令和5年度調査内容については、6月上旬実施の文化財行政担当者会議の

場において市町村に説明及び依頼

ウ 調査指導委員会

- 各専門家（近代史、建築史、考古学、産業史等）4名で構成し、令和5年5月に委嘱。9月1日（金）に第1回指導委員会会議を開催予定

委員名	専門分野	所属等
板垣 貴志	日本近現代史	島根大学法文学部准教授
會下 和宏	日本考古学	島根大学総合博物館教授
金澤 雄記	建築史	広島工業大学工学部准教授
樋口 輝久	土木史	岡山大学学術研究院准教授

- 所在調査結果の検討、遺跡の評価等の検討
- 詳細調査が必要な遺跡の選択等

⑤ 調査対象とする遺跡と時期

- 近代の歴史事象に直接又は密接にかかわる遺跡を対象とし、記念碑・顕彰碑・復元建物等の二次的な遺跡は対象としない。
- 対象とする遺跡の時期は、幕末・開国頃から第二次世界大戦終結頃までとする。

⑥ 令和4年度実施の調査概要

- 政治分野における軍事に関わる遺跡について実施

種別	年代等	件数	該当遺跡等
台場	幕末?	1	海士
海軍望楼・陸軍監視所	明治	6	美保関、西郷、日御碕、高崎山
練兵隊関連	明治～昭和	9	松江連隊、浜田連隊、浜田歩兵作業場等
射撃場	昭和	2	浜田陸軍射撃場等
基地関連	昭和	5	湯町、玉造、大社、七類等
防空監視哨	昭和	22	美保関、野波、三成、都茂、布施等
海軍特設見張所	昭和	4	美保関、日御碕、高崎山、島後
陣地	昭和	16	海士唯山、隠岐岩上、飯山等
防空壕	昭和	6	松江城山、益田赤崎等
造兵廠	昭和	1	大阪陸軍造兵廠石見製造所
その他	昭和	8	※空襲跡、軍用機墜落地、軍用道路等
	計	80	

⑦ 令和5年度の調査

- 引き続き所在調査の実施
- ※ 令和5年度対象分野：鉱山・エネルギー産業・重工業・軽工業
- 事業費 398千円

近代遺跡の分野区分およびコード

① 鉱山

0101 0102 0103 0104
鉄山 銅山 金銀山 その他各種鉱山

(選鉱場、精練所、軌道施設等の関連施設を含む)

令和5年度 調査対象分野

② エネルギー産業(鉱業を除く)

0201 0202 0203 0204 0205
炭坑 油田 発電所 ダム その他

③ 重工業

0301 0302 0303 0304 0305 0306 0307
製鉄 冶金 機械 造船 自動車 石油コンビナート その他

④ 軽工業

0401 0402 0403 0404 0405 0406 0407 0408 0409
紡績 製糸 その他繊維産業 食品 化学 窯業 セメント 地場産業 その他

⑤ 交通・運輸・通信業

0501 0502 0503 0504 0505 0506 0507 0508 0509 0510 0511 0512 0513 0514
鉄道 道路 橋梁 隧道 港湾 倉庫 灯台 運河 河川・堤防 飛行場 郵便 電信 電話 その他

⑥ 商業・金融業

0601 0602 0603 0604 0605 0606 0607
会所 商館 商店・百貨店 市場 会社 金融機関(銀行 証券取引所等) その他

⑦ 農林水産業

0701 0702 0703 0704 0705
農業(灌漑施設 干拓施設 農業試験場等) 牧畜 開拓 林業(貯木場 製材所 森林軌道等) 漁業(漁港 番屋
養殖施設 水産加工施設等) 養蚕業(蚕室、蚕種製造所 繭集荷場等) 製塩業 その他

⑧ 社会

0801 0802 0803 0804 0805 0806 0807
上下水道施設 都市開発 集合住宅 公衆浴場 公園 保健医療施設(病院診療所 療養所等) 社会福祉施設(孤児院
養老院 保健所 授産施設等) 0808 0809 0810
娯楽・観光施設(映画館 芝居小屋 遊園地等) 災害 公害・労働争議等社会運動
0811
に関する遺跡 その他

⑨ 政治

0901 0902 0903 0904
行政(郡役所 地方自治体の庁舎 官庁等) 立法(議事堂等) 司法(裁判所刑務所等) 政党・政治結社等政治的
活動および政治的事件に関する遺跡 0905 0906 0907
外交(税関 領事館等) 軍事に関する遺跡 その他

令和4年度調査対象

⑩ 文化

1001 1002 1003
学校 研究施設(研究所 試験場 実験場 天文台等) 文化施設(文庫 図書館 美術館 博物館 音楽堂 劇場等)
1004 1005 1006
出版・報道に関する施設 競技場等のスポーツ施設 その他

⑪ その他

1101
①～⑩に属しない分野

(注1) 宗教に関する遺跡(寺院、神社、教会等)で福祉、教育等に関連する場合は、⑧または⑩等それぞれの分野で取り扱うこと。

(注2) ①～⑪の分野に関連する特に著名な個人の旧宅については、それぞれの分野で取り扱うこと。

(2) 旧海軍大社基地関連施設群について

① 概要

- ・ 設営時期等 1945年3月～6月 海軍双発爆撃機「銀河」40機配備
- ・ 主要滑走路 幅60m×延長1,500m（コンクリート舗装）
- ・ 周辺施設等 応急離陸路、掩体壕、燃料庫、魚雷庫、爆弾庫、高射砲陣地、兵舎、作戦本部等
- ・ その他 航空特攻兵器「桜花」の集積

② 経緯及び現状

ア 経緯

- ・ 令和3年1月：主滑走路跡地の売却・落札決定により、民間の宅地開発計画が明らかとなる。
- ・ 令和3年3月：県内3団体（島根史学会・島根考古学会・戦後史会議・松江）から島根県知事・島根県教育委員会教育長に対して保存要望
- ※ 以降、令和3年4月（質問と要望）、令和3年10月（再要望と要請）、令和3年11月（経過と再質問）、令和4年1月（要望）、令和4年5月（見解表明）と県内3団体から県知事・県教育長宛に文書による要望等が寄せられている。
- ・ 令和4年度：民間の宅地開発が進む中で、主滑走路南側の市道建設工事も開始された。

イ 現状

- ・ 主滑走路の西側（県道木次直江停車場線の西側）は、一部を除いて令和4年度以降の宅地造成、市道建設によって既に失われている。
- ・ 主滑走路東側は、民有地、出雲市有地、島根県有地が存在し、早くから開発等が行われ、主滑走路のコンクリート舗装が部分的に確認される状況

③ 出雲児童相談所移転建設について

ア 経緯

- ・ 令和4年度：主滑走路跡地（県有地）への移転建設が決定された

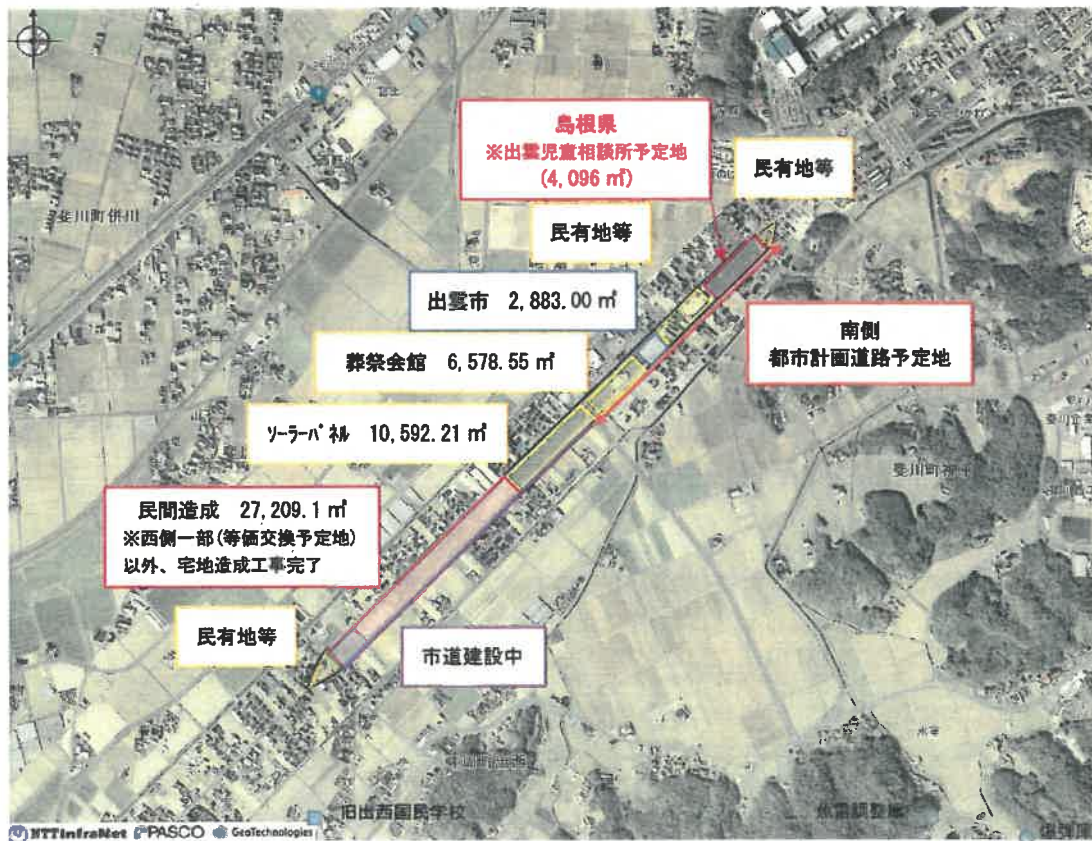
イ 事業スケジュール

- ・ 令和5年度～6年度：基本設計、地質調査、実施設計
- ・ 令和7年度～8年度：建設工事
- ・ 令和9年度：供用開始予定

④ 移転建設への対応

- ・ 該当地は、『島根県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書』（2002）によれば、交通機動隊簸川訓練場などによって姿を消しているとされている。

- しかしながら、アスファルト舗装の下に主滑走路のコンクリートが残存している可能性は否定できない。
- そのため、コンクリート舗装が残存している可能性を含めて、担当部局と協議中



旧海軍大社基地施設群 主滑走路跡 現況図 (令和5年3月段階)